

風水害コミュニティタイムラインについて

◆経緯

タイムラインとは、災害発生予想時期から逆算して、「いつ、だれが、何をするか」をあらかじめ定める事前防災行動計画である。

貝塚市ではコミュニティタイムラインの策定を進めており、平成28年度には高潮タイムラインを策定した。今回、山手の地区における土砂災害を念頭においたタイムラインを策定することとなった。

◆内容

ワークショップ形式で開催

第1回（タイムラインを学ぶ）

第2回（地域の危険を知る、リスクの共有）

第3回（防災行動項目の抽出）

第4回（防災行動項目の抽出2回目）

●第5回（試行版の完成）

◆効果

- ・「いつ」「誰が」「何を」するかを定めるため、災害対応の漏れがなくなる。
- ・地域の自主防災組織の対応の「ばらつき」が改善できる。
- ・市からの情報の自主的な取得により「先を見越した早め早めの対応」が可能となる。
- ・訓練や災害時の「ふりかえり」を行うようになり、課題や教訓の継承が可能となる。
- ・地区は地区住民が守るという防災意識の醸成が可能となる。

